

探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

主体的に問いを見出し，自己探究を通して，資質・能力の向上を図る  
～探究は自分の生活の中に～

福山市立一ツ橋中学校区

(一ツ橋中学校，引野小学校，長浜小学校)

## 2年目の実践

- (1) 探究サイクルを意識した単元開発
- (2) 教師のファシリテート
- (3) 評価基準（ルーブリック）の作成

## (1) 探究サイクルを意識した単元開発

小・中連携（校区内）での探究キーワード

「子どもたちの声」 → 課題設定・情報収集に

「机からの脱却」 → 探究のきっかけに

「本物に触れる」 → 本物の探究に

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔一ツ橋中学校〕

【一ツ橋中学校 3年生】 単元名 「自己実現」

将来の自分と今の自分を比較した際に生じた差（ギャップ）をそれぞれの課題とし、自分にとって必要なことを自己探究していく。

探究のスタート

課題設定①

今の自分たちに必要なことはなんだろう？

「海外留学（夢）に必要なこと」 「高校や大学の知識」

○今の自分と将来の自分を比較した時の差を課題として設定する。

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔一ツ橋中学校〕

## 情報収集①

どうすれば課題を解決できるのだろう？

「インターネットで調べる」 「校内でアンケートをとる」等

○「机上での作業」 本やインターネットで情報検索する。

このままでは探究は深まらない！  
気付いてほしい！我慢！



<調べたことを共有>

## 整理・分析①

課題は本当に解決できたのか？

「情報はあるが、イメージできない」 「本当にこれで解決かな？」

**「本物の情報が欲しい！プロの話が聞きたい！」**

○振り返り，新たな課題を設定する。

<電話で依頼>



# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔一ツ橋中学校〕

## 課題設定②

どうすれば、もっと本物の情報を得ることができるのか？

「直接話を聞きたい」、「職場訪問がしたい」

○「外部連携」を引き出すことで本物に触れる

## 情報収集②

「外部連携」でどんなことができるのか？

【取組】ズームを活用した対談（看護師，警察官，建築士，プロバスケット選手，芸能マネージャー）  
メールを活用したインタビュー（カープ球団 坂倉選手，栗林選手）  
学校に来ていただく（社長業），職場訪問（保育園）  
修学旅行で「大学訪問」，「企業研修」実施



<オンラインで話を伺う>



<来校してもらい話を伺う>

## 京都外国語大学をきっかけに...

最初は、外国に関することをするのなら「留学しかない!!」



↓  
京都外国語大学の大学生から学んだ沢山のこと

- ・留学以外にも色々な方法で英語に関わることができること
- ・どんな職業につくとしても英検やTOEICなどの資格が大切なこと

留学→英語に関わる職業について探求を深めることに...

<大学訪問を終えて>

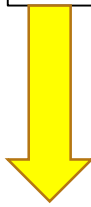
## ◇質問一覧（※回答選手：坂倉選手、栗林選手）

1. いっごろから野球選手を目指し始めましたか	坂倉 中学から高校に上がる時。
栗林 小学校3年生。野球をやり始めてプロ野球を見始めました。	
2. 練習方法やメンタル面で続けていることはなんですか	坂倉 しっかり食べてしっかり寝る！
栗林 キャッチボールの最初の3球は決まった形で投げる。ルーティーンを多く作って心を整える。試合前はうどんを食べる、5回にバナナを食べる、など。	
3. 野球を通してどのような人間性を身に付けることができますか	坂倉 チームスポーツなので、仲間意識や人とのつながりを大切にすることができ、人の輪もできた。
栗林 上下関係。苦しい時にも仲間の人々と頑張ろうという気持ちになれた。	
4. プロ選手レベルの野球の一番の魅力はなんですか	坂倉 スピード感。

<プロ野球選手とのメールでのインタビュー>

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔一ツ橋中学校〕

整理・分析②  
進路（生き方）を考えるとときに必要なことは？



「本物」に触れたからこそわかる現実  
「将来」を見据えた情報の精選

まとめ・表現  
どのような進路（生き方）を自分は考えたのか？



進路の決定！  
上級学校で自分がめざすべきことを「自己表現」で語る

中学校卒業 自己実現へ

「自己表現を探究」  
↓  
後輩たちへ残したい

## <生徒の探究レポート>

### 探求をしてみて

今回英語に関わる職業について調べて英語に関わる職業は自分の価値観を広げ、世界と繋がる職業だと思った。



でもただただ英語の職業になりたいと思うだけではなく  
英検やTOEIC等の資格を取ったり、世界情勢に関心を持ったりしていきたい

自己表現とは  
自分が考えていることを言葉や行動で表すこと

### 広島県だけ自己表現を行う理由

○はじめの考え  
うちの学びを必要としているから

○結論  
広島教育委員会では、私たちのこれからの大人になり社会に出ていく際に、「自己を認識する力」「自分の人生を選択する力」「表現する力」この3つの力を必要とされており、中学校・卒業する15歳・段階や広島県の生徒全員に、このような力を身に付けてもらいたいと考えているから。

↓なぜ必要であるのか...  
○「自己を認識する力」  
自分の組織の中の役割と把握することができ、また「他者やどう思われているか」も理解できるための人間関係を築くことができる。  
○「自分の人生を選択する力」  
判断に迷った時自分自身の目的、価値観、心算などを整理し、決断のうえで、自分の将来の理想や目標、情報の多い世の中にある的確な必要の能力である。  
○「表現する力」  
意見や考え方も正しく相手に伝わるように伝える力。自分の意見も伝わりやすく伝えたり、わかりにくい物事をわかりやすく丁寧に説明したりすること。コミュニケーションスキルは、いい人間関係を築くのに役立つ。

○自己表現のメリット  
○コミュニケーション能力の向上  
信頼関係の構築ができる  
○自分に自信を持つ  
○ありのままの自分を見られる  
○世界の広さを知ることができる

○自己表現方法  
○言葉や文章、表情、ジェスチャー、行動など

○意識すべきこと  
○自分の長所を見つける  
○特技、趣味を見つめる  
○1ヶ月を大切に  
○日頃からの言葉遣い  
○興味のあることを探究する  
○やりたいこと口で言うだけでなく

○まとめ  
自己表現は挑戦して長所や伸ばしたことをしっかりと自分の言葉やジェスチャーなどで伝えることも大切にする。自分も大切にする。

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔引野小学校〕

【引野小学校 6年生】 単元名 「引野の未来を考えよう」

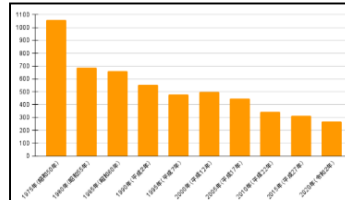
引野町の魅力  
を発信!

引野町の魅力を見童に聞くと、「〇〇屋がある」などお店ばかりがあがった。  
なぜそこが魅力なのか、魅力とはそもそも何なのかを考えて欲しい。



引野町の魅力は何？  
お店があるってことが魅力なの？

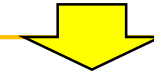
引野小学校 児童数の変移



そのお店がどんなお店なのか、  
働いている人にインタビュー  
して詳しく知りたい!

## 【課題設定】

引野小学校の人数が減ってきている。将来、引野小学校も引野町もなくなってしまうかもしれない。どうしたら、引野に住む人が増えるだろう。引野について、実はあまり知らないのでは？そもそも魅力ってなんだろう。引野に暮らす人に聞きたい。





# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔引野小学校〕

## 【情報収集】

実際に、町の人にインタビューして魅力を集めよう！



お店の魅力を  
教えてください！

許可はあるかな？  
しっかり確認しよう。

もっと違う場所の方  
にも聞いてみたい！

## 【整理・分析】

引野には、色々な思いをもって生活しているすてきな人、そして場所がある。インスタや 유튜브、ホームページ等で引野町の魅力を発信していけば、引野町に来てくれる人が増えるのでは。

配信をする時にはどんなことに気を  
付けたら良い？  
勝手に配信しても良いのかな？



SNSの利用について、より良く使える方法を身に  
付けて欲しい。

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔引野小学校〕

## 【表現】

Instagramで、どのような内容をどんな形にして、魅力を発信しようか。



フォロワーやいいね！が  
なかなか増えないな～

魅力が上手く伝わって  
いないのでは？

## 【新たな課題設定】

魅力を伝えるためのより良い方法はなんだろう。

目標 フォロワー 100人！ いいね！ 50を目指していこう！

引野小学校 Instagram アカウント 「hikinoshougakkou」

YouTube チャンネル名「福山市立引野小学校」

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔長浜小学校〕

【長浜小学校 4年生】 単元名 「みんなの街を守るために」

みんなの街を守るため  
1人1人ができること



4年生は、伝統的にリサイクル活動を行ってきた。  
伝統だからやるのではなく、何のためにやるのかを考えて欲しい。身の周りの環境とリサイクルを関連付けて考えて欲しい。

みんなの町はきれい？  
どうしてそう思うの？  
本当に？

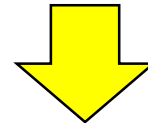


実際に見に行っ  
て確かめよう！

ゴミが結構捨て  
られている！

## 【課題設定】

長浜学区の環境はきれいなのだろうか。  
自分たちはきれいだと思っているだけ  
かも、実際に行ってみると・・・



# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔長浜小学校〕

## 【整理・分析】

長浜学区をきれいにするために、自分たちができることをグループに分かれて考えてみよう。



学校にもゴミある  
よね！

みんなに参加してもらうため、校内ごみ拾い大会をやってみよう！

## 【表現（活動）】

放送，ポスター，学級訪問を行い，全校に校内ごみ拾い大会を呼びかけ，実施しよう。実際にやってみると，学校内はきれいになった。全校生徒も協力してくれた！



# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔長浜小学校〕



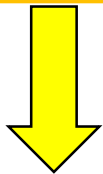
ごみ拾い大会どうだった？

次に向けてどうする？

今までは、すぐに気づきを見童に伝えていた。まずは、見童自らが考え実施したごみ拾い大会を振り返り、どう思っているのか、子どもたちの声を聞いてみよう。

## 【新たな課題設定】

学校はきれいになったけれど、地域をきれいにするにはどのようなことができるだろうか。リサイクルの呼びかけの時にはどんなことに気を付けて行おうか。

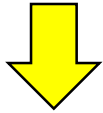


## 【情報収集】

4つのグループに分かれてプロジェクト学習

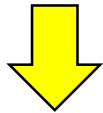
- ① 校区ごみ拾い大会チーム
- ② 公園にごみ箱を設置チーム
- ③ 公園にポスター設置チーム
- ④ 校内に広げるチーム

# (1) 探究サイクルを意識した単元開発 実践例〔長浜小学校〕



## 【整理・分析】

- ① 校区ゴミ拾い大会チーム → 3年生へ依頼して、一緒に活動（3月3日実施予定）
- ② 公園にゴミ箱設置チーム → 管理面から公園には置けない・・・  
学校の各場所に設置
- ③ 公園にポスター設置チーム → 環境面から公園には置けない・・・  
公民館へ掲示
- ④ 校内に広げるチーム → 校内にポスター設置



## 【まとめ・表現】

ゴミ拾い大会を実施後、校区内にはどんなゴミが多く落ちているのか。どこに多くゴミが落ちているのかをまとめ、地域（公民館など）と連携していきたい。

## (2) 教師のファシリテート

### 探究的な学習の時間における教師の役割

- ・ 学習環境づくり
- ・ 情報の提供
- ・ 生徒の状況理解



教師は  
「見る・聞く・我慢する」

授業を生徒と一緒に  
創りあげていく！

## (2) 教師のファシリテート

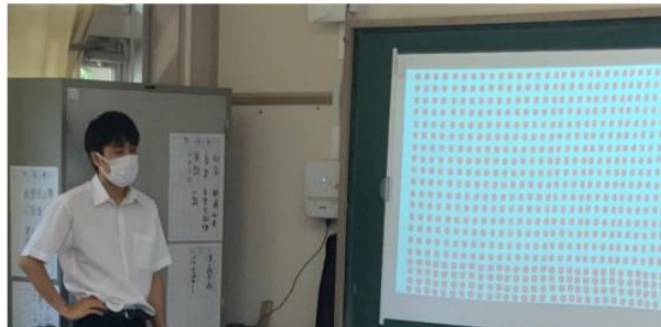
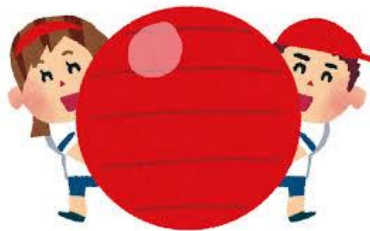
引野小学校 4年生 単元名 「守ろう！地球の環境」

### 【学習環境づくり】

“本物”の探究を進めていくためには、**児童生徒が教師とともに対等に一緒に学校を創り上げようとする**ことが大切である。（永田忠道先生の講演より）



二酸化炭素排出量をどれだけ削減できたか、子供たちがとらえやすいように、大玉転がしのボールに空気を入れて表すことになったんですよ。



先生も資料を見つけたんだけど、これは使えるかなあ。  
二酸化炭素排出量を持ってきた大玉の個数で表すと…

### 【情報の提供】



## (2) 教師のファシリテート

一ツ橋中学校 3年生 単元名 「自己実現」

### 【生徒の状況理解】



今の進捗状況を確認

担当との面談を通して状況を理解



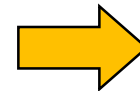
学年で共有することで、次の授業や評価に繋げる



今の状況を説明してくれる？

この後、どうしようと考えてる？

自分の将来に繋がってる？



子どもたちの状況を

子どもたちの言葉で説明

### (3) 評価基準（ルーブリック）の作成

#### 【作成の流れ】

- ・ 単元の評価規準の作成
- ・ 重点項目の決定
- ・ 単元毎のルーブリックの作成

# (3) 評価基準（ルーブリック）の作成 単元の評価規準の作成

## ① 育成を目指す資質・能力を踏まえた「単元の評価規準」を作成

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①「概念的な知識の習得」 自己実現に向けて、様々な進路選択、職業選択をすることが大切であることを理解している。</p> <p>②「自在に活用することが可能な技能の獲得」 自己実現に向けて、必要な情報を様々な方法を通して収集している。</p> <p>③「探究的な学習のよさの理解」 自己実現に向けて、今の自分と未来の自分との比較による課題の解決は、自己探究をしてきた成果であることに気付いている。</p>	<p>①「課題の設定」 今の自分と未来の自分を比較したときに生じたギャップを課題として設定し、解決への見通しをもって計画している。</p> <p>②「情報の収集」 自分の課題に対する解決策を情報収集し、情報を整理しながら進めている。また、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。</p> <p>③「整理・分析」 様々な手法から得た情報を精選し、比較・分析を行う中で、解決策のための情報を整理している。</p> <p>④「まとめ・表現」 自己実現に向けての課題を振り返る中で、自分の改善点や成長した点をまとめている。</p>	<p>①「自己理解・他者理解」 自己実現の探究活動の振り返りを通して自己課題の価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>②「主体的・協働的」 自己・他者との対話を通して得た学びをまとめ、表現しようとしている。また、面談を通して、自己の探究を見直そうとしている。</p> <p>③「将来展望・社会参画」 自己の生き方、将来を考える中で、今の自分の課題を自分ごととして考えることで、自己実現を図ろうとしている。</p>

### (3) 評価基準（ルーブリック）の作成 重点項目の決定

② 10項目の評価規準と校区内で育成したい資質・能力を照らし合わせ、  
重点的な項目のルーブリックを作成する。

#### 《各学校の育成したい資質・能力》

育成したい資質・能力				校区内でちがう (学校で育てたい力)	
一ツ橋中	学びに向かう力	課題発見・解決力	対話する力	→	②主体的・協働的
引野小			自己・他者理解	→	①自己理解・他者理解
長浜小			自己効力感	→	①自己理解・他者理解

校区内で共通 (校区で育てたい力)

- ③探究的な学習の  
よさの理解
- ①課題の設定
- ③整理・分析

# (3) 評価基準（ルーブリック）の作成 単元毎のルーブリックの作成（一ツ橋中の実践例）

## ③校区内で育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>③「探究的な学習のよさの理解」</b></p> <p>A 自己実現に向けて、自己課題の解決は、自己探究をしてきた成果であることに気付く、新たな課題や新たな自分を形成しようとするができる。</p> <p>B 自己実現に向けて、自己課題の解決は、自己探究をしてきた成果であることに気付くことができる。</p> <p>C 自己実現に向けて自己課題の解決を、自己探究学習で行うことができる。</p>	<p><b>①「課題の設定」</b></p> <p>A 今の自分と未来の自分を比較したときの課題を多面的・多角的に捉え、解決への見通しをもって計画することができる。</p> <p>B 今の自分と未来の自分を比較したときに生じたギャップを課題として設定し、解決への見通しをもって計画することができる。</p> <p>C 今の自分と未来の自分を比較したときに生じたギャップを課題として設定することができる。</p> <p><b>③「整理・分析」</b></p> <p>A 様々な手法で得た情報を精選し、比較・分析を行う中で、新たな課題を見出したり、解決策のために整理したりすることができる。</p> <p>B 様々な手法から得た情報を精選し、比較・分析を行う中で、解決策のための情報を整理することができる。</p> <p>C 様々な手法から得た情報を解決策のために整理することができる。</p>	<p><b>②「主体的・協働的」</b></p> <p>A 自己・他者との対話を通して得た学びを整理し、比較・分析を行いながら、新たな課題を見出したり、まとめへと繋げたり、表現することができる。また、面談を通して、自己の探究サイクルを再構築することができる。</p> <p>B 自己・他者との対話を通して得た学びをまとめ、表現することができる。また、面談を通して、自己の探究サイクルを見直すことができる。</p> <p>C 自己・他者との対話から得た学びを自己探究のまとめへと表現することができる。また、面談を通して、アドバイスをもらいながら自己の探究サイクルを見直すことができる。</p>

## 3年目において

### ① 本物の探究に向けた単元開発

各校の取組を通じて、主体的に問いを見出す児童生徒の姿が見られ、探究が始まったと感じている。「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」している児童生徒の姿の具体を9年間の資質・能力の系統表として示し、校区の教職員全員が共通認識を持って児童生徒を育てる。

### ② 探究の発信に向けたリーフレットの作成

他校の探究的な学習のきっかけとなるよう、これまで取り組んできたことをリーフレットにまとめ、発信する。